

令和3年度 栃木県立佐野東高等学校 男子サッカー部

1. 部員数

2年 13名 1年 11名 女子マネージャー 4名 計28名（令和3年12月現在）

2. 活動のサイクル

月	火	水	木	金	土	日
OFF	練習		OFF	練習	練習試合・公式戦 試合がない場合は練習	

本校サッカー部では、週休2日を取り入れ、選手のコンディション管理や学業との両立に十分な時間を確保しています。OFFの日には、塾に通ったり、放課後学習や課外に参加したり、通院して心身のケアにあてたり等、様々な時間の使い方をしている生徒がいます。

3. 令和3年度の主な戦績

栃木県高校総体兼関東高校サッカー大会栃木県予選

1回戦 vs 宇都宮工業高校 0-3 負け

全国高校総体栃木県予選

2回戦 vs 黒磯高校 3-0 勝ち

3回戦 vs 文星芸術大学附属高校 0-2 負け

全国高校サッカー選手権栃木大会

2回戦 vs 宇都宮北高校 1-2 負け

ユースサッカーU18 リーグ栃木2部Aグループ（詳細は栃木県サッカー協会速報ページをご覧ください）

前期 勝ち点4 後期 勝ち点10 計勝ち点14 来季2部残留！

※ 佐野・足利地区の県立学校でユースリーグ2部以上に所属しているチームは本校のみです！

令和3年度、残された公式戦は1月の新人戦のみです。ベスト8進出を目指し頑張っていきます。

4. 本校サッカー部の特徴

○ ボールを大切にプレーします

本校のサッカー部では、1本1本のパスを丁寧に繋ぎ、一人ひとりのより良い判断に基づいてボールを動かし、人も動いていく流れるようなサッカーを目指しています。そのために、ボールを闇雲に蹴りだすのではなく、自分たちのボールを大切に、しっかりと保持しながらプレーします。

○ 主体的に考え、判断し、プレーできる選手を育てます

サッカーでは、試合を中断したタイムアウトのようなシステムはなく、試合が始まるとすべて選手の判断に委ねることになります。そのため、本校では日々の試合を想定した実践的な練習を繰り返す中で、選手自らが主体的に考え、判断し、プレーできる選手へと成長できるよう取り組んでいます。

事実、本校サッカー部の選手には小柄な選手も多いですが、技術と判断力を駆使して、レギュラーをつかみ活躍している選手がたくさんいます。

○ 文武両道を実践します

本校男子サッカー部では、毎年国公立大学進学者を輩出しています。また、学年でも上位の成績を修めている生徒が多く、東高内でも「文武両道」を実践している部活動の一つです。

過去には、下記のような国公立大学、有名私学に入学、合格しています。

【国公立】	群馬大学、宇都宮大学、茨城大学、埼玉大学、前橋工科大学、東京学芸大学 福島大学、山形大学、新潟大学、三条市立大学 など
【私 立】	青山学院大学、立教大学、東洋大学、日本大学、駒沢大学、芝浦工業大学 千葉工業大学、群馬パース大学、白鷲大学 など

○ 社会的規範、人間性の確立をめざします

サッカーは「ルール」や「限られた時間」に基づき、多くの「仲間」とともにコミュニケーションをとりながら、互いのミスを補いプレーする事が求められるスポーツです。サッカーを真剣にプレーする事で、規範意識やコミュニケーション力、仲間を大切にする心などを養うことができます。

本校サッカー部では、日々の活動を通じ、サッカーの技術向上のみではなく、規範意識や人間性の成長などを目指しています。